

【令和5年度 入社式挨拶】

新入社員のみなさん、おはようございます。そして、熊谷組への入社「おめでとうございます。」 社長の櫻野です。

令和5年度の入社式にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

皆さんの学生生活にも大変大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症もようやく収束の兆しが見え、皆さんにとって節目のイベントである入社式を、こうやって一堂に会して催すことができ大変嬉しく思います。

多くの皆さんとは内定式以来となりますが、その場でも申し上げたとおり、皆さんは、勉学、クラブ活動、アルバイト、友人との交流などの学生生活の多くをコロナによる様々な制約を受けながら過ごしてこられ、大変苦勞されたことと思います。しかし、コロナ禍における学生生活は、皆さんをよりたくましく成長させてくれたものと思います。そんな皆さんが、数ある企業の中から熊谷組を選択してくれたこと、実に嬉しく思います。そして、皆さんを社員として、仲間として迎え入れ、一緒に仕事ができることを大変楽しみにしています。

熊谷組は 125 年の歴史を持つ企業です。1898 年の創業以来、「いつか世の中のお為になるような仕事をさせて頂きたい」「難所難物（困難な工事）があれば私にやらせて下さい」という仕事に対する創業者の想いを大事に引継ぎ、建設事業を通して、広く社会の発展に貢献してきました。長い年月にわたって会社を支えてきたものは、それぞれの時代を生き抜いてきた“熊谷組の社員”であり、その社員の“誠実さ”そして“挑戦心”です。

皆さんは今日から熊谷組の一員となるわけですが、歴史と伝統ある企業、そして建設という事業を通じて社会に貢献している企業に入社したことを大いに誇りに思い、自分の夢を実現するとともに、是非とも熊谷組の良き風土とスピリットを、将来にわたって繋いでいてもらいたいと思います。

熊谷組グループは、「現場力を高め、独自の価値をつくり、時代を超えてお客様と社会を支え続ける」というグループビジョンのもと、「社会から求められる建設サービス業の担い手」として、“持続可能な社会”の形成に貢献していくことを役割としています。皆さんには、ビジョンの実現、役割の達成に向け、我々と一緒になって取り組んでもらいたいと思います。

ここもとの建設マーケットは、比較的堅調な公共投資に加え、コロナ禍で停滞していた民間投資に持ち直しの動きが見られ、全体的に堅調に推移していると言えますが、昨年から続く資材価格の高騰は業績面での大きな下押し要因となっています。また、建設業界は「担い手不足」という構造的な課題に直面しており、「働き方改革・生産性の向上にむけた取り組み」が喫緊の課題となっています。更には、来年度から建設業も「残業時間の上限規制の適用対象業種」となり、罰則付きの上限規制遵守が義務化されることとなります。まさに、大変革の時代に技術と柔軟な発想で、時代に即した付加価値を創出していくことが求められています。こういった面においても若い力に大いに期待しています。

ここまで皆さんへの期待をいくつか申し上げましたが、最後にお願いを二つほど。まず、“常に自分の成長を目指し、チームの力になれる存在感のある社員”に成長してもらいたいと思います。そのためには、今回の **WBC** (ワールドベースボールクラシック) での侍ジャパンのメンバーがそうだったように、周囲との積極的なコミュニケーションを通して、互いに、「伝えあい」「理解しあい」「実践しあい」

そして「認め合う」すなわちリスペクトし合う姿勢を忘れないでください。

そして次に、良き友人を作ってください。仕事の課題解決や悩みをともにし、乗り越えた仲間の絆は大変強くなると言います。同期の間を大切にし、お互いに切磋琢磨しながら成長し、それぞれが大いに活躍されんことを期待します。

「自らを高め、未来をつくり、人を支える」

そんな社員に成長されることを祈念し、わたしからの祝辞といたします。

本日はおめでとうございます。

以 上